

# 令和2年度 市民講演会を開催しました

テーマ：在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～

今は大丈夫…でも、これからのことを一緒にかんがえてみませんか？

開催日：令和2年11月14日（土） 会場：有喜ふれあい会館 参加者：20名

## 【講師】

諫早市高齢介護課 米田 健二様  
 藤原医院 藤原 隆様  
 増山歯科医院 増山 隆一様  
 そうごう薬局諫早小野町店 高山 明美様

## 【講演テーマ】

「ご存知ですか、介護保険」  
 「在宅医療から看取りまで」  
 「歯科から提案～お口の問題と地域連携～」  
 「薬剤師も在宅へ訪問します」



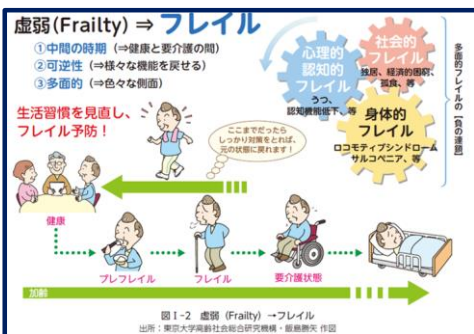
## かかりつけ医とは

- ◆急性期の病気の初診
- ◆慢性期の病気の治療
- ◆家族の健康相談
- ◆病院のバックアップを持つてる
- ◆在宅診療をしているか

令和2年度は、有喜地区の方を対象に、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活が出来る「在宅医療」について、理解を深めてもらうことを目的に開催しました。

今回は、コロナウイルス感染症対策として検温や手指消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気を行いながらの開催でした。

初めに、行政から介護保険の申請方法や相談窓口について説明がありました。藤原先生からは、かかりつけ医を持つことや、最期までどのように暮らしていくか事前に考えておくことの大切さをご講演いただきました。歯科の増山先生からは、オーラルフレイル予防や訪問歯科診療の実際について、また、薬剤師の高山先生からは、薬剤師も訪問することやかかりつけ薬剤師を活用することなどのご講演いただきました。



## 薬のことで困っていませんか？

- ・薬の管理が出来ない
- ・飲み忘れてしまう
- ・飲みづらい、飲んでくれない
- ・服薬の介助に時間がかかる
- ・錠剤をつぶして飲んでも大丈夫？
- ・飲み合わせは大丈夫？



参加された方からは、「医師、歯科医師、薬剤師、専門職の説明のポイントが良く、さらに理解が深まった」、「これからのことを家族で話し合っていきたいと思った」、「在宅医療になった時、たくさんのサポートの方がおられるということが分かり、少し安心した」などのご意見をいただきました。

当センターでは、今後も市民の皆様を対象に、市内各地域で「在宅医療と介護」をテーマに講演会を開催していくこととされています。

# 令和2年度「在宅医療と介護の市民講演会」アンケート集計

\*テーマ：「在宅医療ってなあに？」～あなたを支える医療と介護～

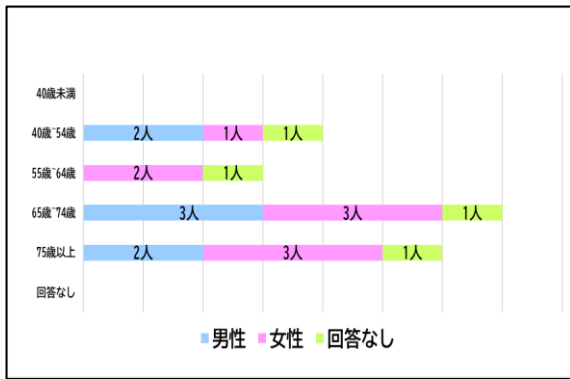
\*開催日：令和2年11月14日（金） \*会場：有喜ふれあい会館 多目的ホール

\*講演プログラム

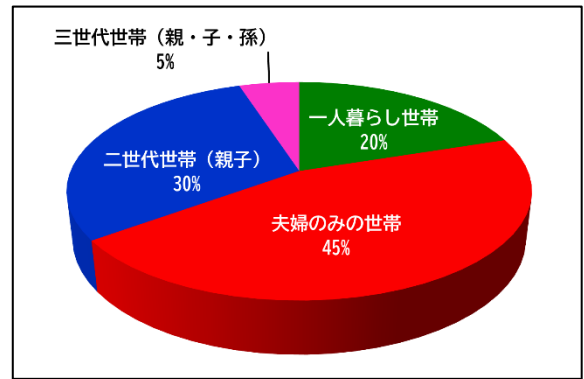
- ①「ご存知ですか 介護保険」 高齢介護課 米田 健二 課長
- ②「在宅医療から看取りまで」 藤原 隆 先生
- ③「歯科から提案～お口の問題と地域連携～」 増山 隆一 先生
- ④「薬剤師も在宅へ訪問します」 そうごう薬局諫早小野町店 高山 明美 先生

参加者数	20人
アンケート回答者数	20人
回収率	100%

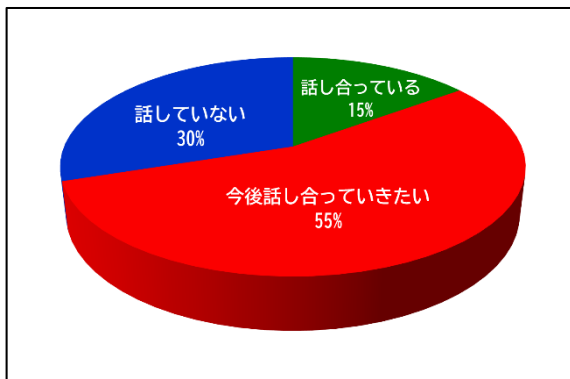
(1)性別・年齢



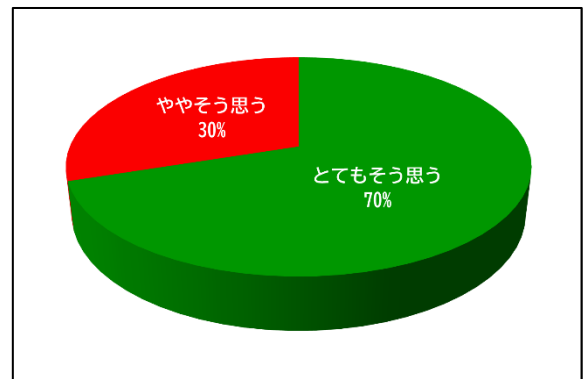
(2)現在、誰と住んでいますか



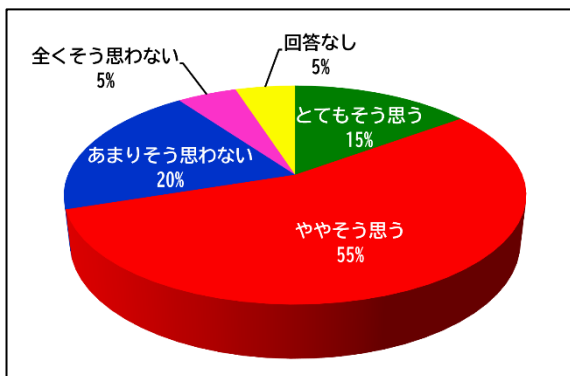
(3)介護が必要になった場合について、  
家族と話し合ったことがありますか



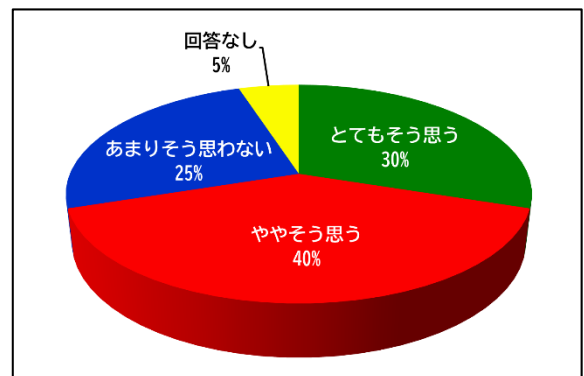
(4)自分や家族の望む医療や介護について、  
家族と話しあった方がよいと思いますか



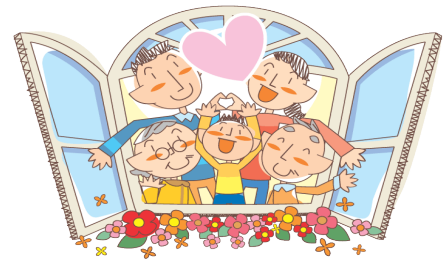
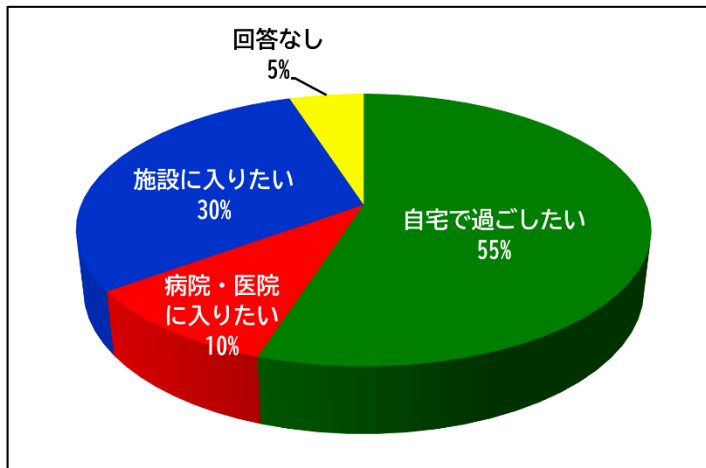
(5)出来れば介護は家族の方が  
望ましいと思いますか



(6)介護が必要になったとき、  
家族の世話になりたくないと思いますか



(7)あなたが介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



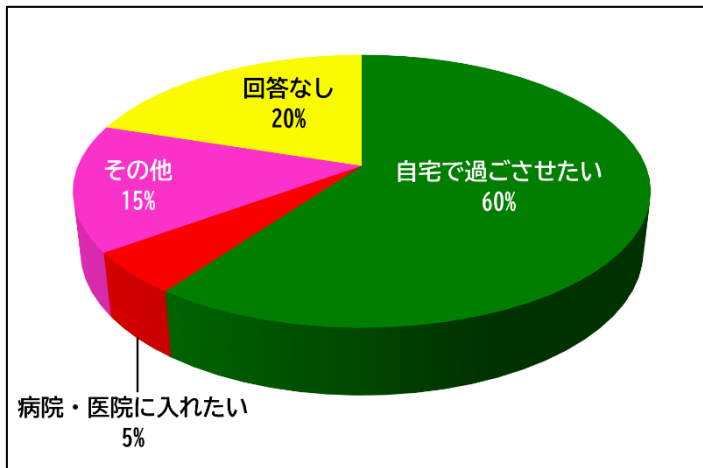
**■ 自宅で過ごしたい**

- ① 自分らしく過ごせそうな気がするので。
- ② 慣れ親しんだ自宅で過ごせるものなら、できるだけ自宅で過ごしたい。家族に迷惑をかける時は病院か施設に入りたい。
- ③ 子供達が遠い、県外。
- ④ 家族との絆や相談を互いに持つ為。
- ⑤ 出来る限り家族（自宅）と過ごしたい。
- ⑥ 家族にあまり負担かけない時までは、自宅で過ごしたい。
- ⑦ 永年住み慣れた所、金銭的な面。

**■ 施設に入りたい**

- ① 家族に迷惑がかかる。
- ② 子供達も自分の家庭があるので迷惑をかけたくない。
- ③ 家族に迷惑をかけたくないから。
- ④ 家族に負担をかけたくない。

(8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



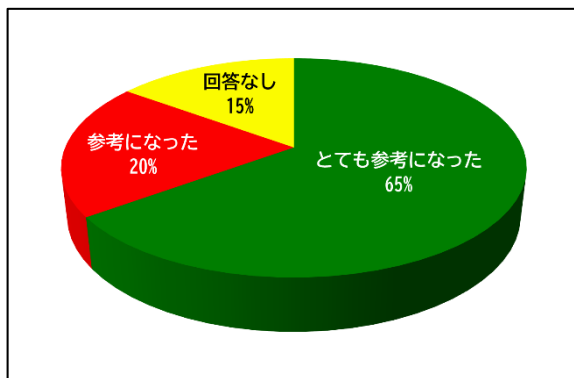
■ 自宅でも過ごさせたい

- ① 毎日顔を合わせて話しかけをしたい。
- ② やはり環境が変わると、精神的に不安になり認知症になるリスクも多いと思う。ぎりぎりまで家族で介護して、どうしても限界の時は病院か施設に入れたいと思う。
- ③ 目が届く。
- ④ 家族の希望に沿いたいから。
- ⑤ できる範囲のことをしてやりたい。
- ⑥ 見守りを続け、力をつけたい。
- ⑦ 出来る限り自宅でも過ごさせたい。
- ⑧ 自分自身が介護できる時までは、自宅でも過ごさせたい。

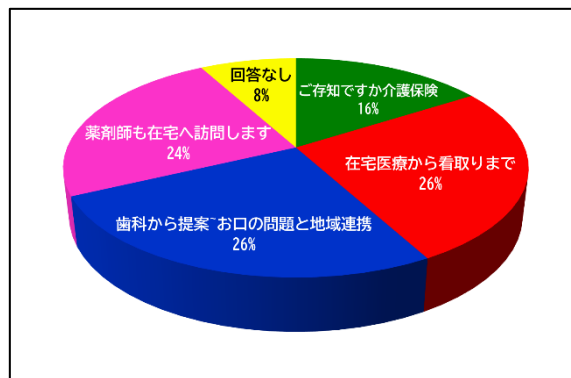
■ その他

- ① 自宅でもどこまでできるか。自分で十分に出来そうにない理由（腰痛）
- ② 本人の希望
- ③ 本人の希望ではあるが、持病もあるしその時になったら病院・医院も選択肢にある。又、施設も。

(9) 本日の講演は参考になりましたか



(10) 特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



(11) 本日の講演会についてご意見をお聞かせください

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、専門の先生方の説明のポイントがよく、さらに理解が深まった。
- ② 訪問歯科協力医院があるのがわかりましたので良かったです。
- ③ 勉強になりました。
- ④ 大変勉強になりました。
- ⑤ 在宅医療になった時、たくさんのサポートの方がおられるという事がわかり安心した。かかりつけ医が地区外の時、その先生が往診をしてくれるか心配になった。
- ⑥ これからのことを家族で話し合っていきたいと思いました。
- ⑦ なるほどと思った件は（自宅で死を選んだ場合）病気が治らなく、帰宅している場合、急変しても救急車を呼ばない事。介護保険について少し分かりました。
- ⑧ 今回の講演会大変参考になりました。



# 令和2年度「在宅医療と介護の市民講演会」 質問と回答



## 質問

「地域の中に薬局がない場合、自宅近くに薬局がない場合、かかりつけ薬剤師が持ちにくいです。どうしたらいいですか？」

## 回答：高山先生

地域の薬局が1番だと思いますが、お薬手帳を活用してもらえば、どの薬局でも飲んでいるお薬を把握できますし、かかりつけ薬剤師は離れた薬局でもいいと思います。

離れた所の病院に通っていて、そこでいつもお薬をもらっている薬局がある。その薬剤師が信頼できる、相談しやすいということであれば、かかりつけ薬剤師になってもらうのが、いいと思います。

